

新 島 行政区

新島区長 宮川 哲夫

皆さんこんにちは！

こちらは、三国小学校区の最南端に在る人口313人(123世帯)の小さな行政区「新島」から発信しています。我が区は、隣接の大原校区と三国小学校区を田んぼで囲まれた陸の孤島「新島区」です。住居地番も「力武・三沢」で組数を6組に分けてありますが、その内、七夕通りで東組(18世帯)だけが分離されております。我が区の創設は、昭和48年「三沢」・「力武区」から分離独立した行政区と言われております。公民館は、平成15年1月(区の西側(三沢字神田島2691番地)に木造平屋73.28平方メートル)に新築しました。ところで、新島区には、住居地番名に「新島」という地番名はありません。あるのは、「三沢」と「力武」なのです。何故でしょう?何故、行政区名が「新島区」なのでしょう?不思議に思いませんか?その歴史を説きましょう。かつては、居住地番名「三沢」区域は、通称「神田島」・「力武」区域は通称「堂島」と呼ばれた「島」だったようです。昭和47年頃、この二島を合併して独立行政区になろうとした時その行政区名について当時の居住者で議論され、投票の結果、堂島と神田島が合併して誕生する新しい行政区すなわち、新しく誕生する島すなわち新島区と命名されたとのことです。単純明快で素晴らしいと思いませんか。初代の区長は、森山さんと言うひとで、直近の馴染みの区長は、南 徳雄氏、野口憲治氏、芹澤一紘氏と引継ぎ、私(宮川)は十代目のようです。我が区には、神社仏閣がなく、他の区のように神社仏閣の祭事等に合わせたお祭りなどの行事はありません。しかし、住民の親睦交流をはかるため年に一回の秋のレクリエーション、及び年末の餅つき大会及び念頭の鏡開き(ぜんざい会)＝(子供会・老人会合同)・公民館主催の文化祭等の催しを行っています。対外的にアピールできるのを一つだけご紹介しましょう。新島区には隣の大原校区との境界に「川原田川」と言う小さな河川があります。この河川は、東に流れ、宝満川に注いでいます。小郡の南北に通じる七夕通りが開通した後この川原田川の土手があまりにもさびしいことから美化作業の一端として「コスモス会」を立ち上げ、毎年、土手の草刈を実施し、コスモスの種を散布し、道行く人の癒しに貢献しています。写真は、昨年の開花状況ですが、今年は、豪雨の影響もあって種子が流され、昨年ほどの開花は見られませんが、コスモス会では、引き続き、雨にも負けず、小さいながらも仲睦まじく、小さな・癒しの島「新島区」でした。

古 賀 行政区

古賀区長 草場 利勝

古賀区は、ふれあい館の南から三国が丘駅北側まで縦に延びる住宅街です。昭和30年当時、田園の中にあつた僅か50戸が三沢区から分区し、現在、1,282戸、住民3,139人に膨れ上がりました。分区から小郡市の市制(昭和47年)施行を機に公民館建設、区規約、スローガン、区章の作成と骨格ができ、併せて文化、体育部会等の活動母体ができ上がりました。南北に長い古賀区は、地域のつながりをモットーに体育、文化、敬老会活動が盛んで今年度の公民館対抗バレーボール大会で優勝した他、敬老会(青陽会)の市民祭り参加、囲碁教室、各種体操教室など14グループが公民館活動を行っています。また、世代間の交流として子供会の空き缶回収、竈門神社の清掃手伝い、夏休みのラジオ体操の指導が行われています。こうした中で課題である少子化対策は、いち早く「新生児のお祝い」の制度を設けたほか、高齢者の方々にも温かい健康福祉の場を提供し、区の活動母体(10団体)に資金を含め応援しています。古賀区は隣接する三国小学校の児童の安全な見守り活動や道路、公園の美化、舗装作業などを通して「ふれあいの心でつくる古賀の里」を目指し、活動しています。



7月 竈門神社での夏祭りの様子



11月 古賀区文化祭



古賀区文化祭会場内の様子

三国小学校区

第17号

「協働のまちづくり」通信

三国小学校区協働のまちづくり協議会

発行：平成30年 1月 1日

発行責任者：藤江 和男

平成30年の年頭にあたって

新年あけましておめでとうございます。

三国小学校区の皆様には、ご家族共々輝かしい新春をお迎えになったこととお慶び申し上げます。また、常日頃から三国小学校区協働のまちづくり協議会(「三国まち協」)にご理解とご支援を賜り、厚くお礼申し上げます。

昨年を振り返りますと、7月の九州北部豪雨、北朝鮮の相次ぐミサイル発射など、私たちの平穏な毎日の暮らしに影を落とすようなニュースが続く中、アメリカのトランプ大統領の日本、韓国、中国歴訪では東アジアの微妙な情勢も改めて浮き彫りになり、なかなか心が安らがない一年だったように思います。12月初旬には今上天皇の「生前退位」の期日が決定となり、「平成」の世は残り少なくなりましたが、2019年4月末日を祝福の中でつつがなく迎えたいものです。

さて、「三国まち協」では8月に「協働のまちづくり」勉強会を実施し、『まちづくり』への理解を深めました。また、9月には「みくに秋祭り」、「お月見会」を盛大に挙行し、11月には区対抗の男子ソフトボール大会を開催しました。これで、三国小学校区の皆様と直接ふれあう大きな事業はほぼ終了したことになります。

『まちづくり』とは、行政区だけでは解決できない課題や、小学校区を単位として広域的に取り組んだ方が効果的・効率的な活動について、地域で話し合い、地域の実情に合わせて、校区の特徴や特色を活かした校区民主体の個性的な生活環境を実現していく全ての活動であると言えます。毎日の暮らしの中で安心、安全、助け合い、育み、思いやりを感じることでできる三国小学校区となるよう、引き続き地域の力を結集し、「三国まち協」と各行政区が核となり、地域課題の解決に向けて今後も精力的に活動を展開していきます。

本年も「三国まち協」への深いご理解と更なるご協力をお願い申し上げます。

三国小学校区協働のまちづくり協議会 会長 藤江 和男



8月「協働のまちづくり」勉強会



9月 みくに秋祭り